

エコアクション21  
(65期)

# 環境経営レポート

〔対象期間：2020年9月1日～2021年8月31日〕

－ 目次 －

1. 組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模）
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

発行 2022年 1月 30日

## 1. 組織の概要

### (1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社犀潟鉄工所  
代表取締役 伊倉達成

### (2) 所在地

本社工場 : 新潟県上越市大潟区犀潟420番地  
駅前工場 : 新潟県上越市大潟区犀潟624番地

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 営業・総務 顧問 吉田悟  
EA21事務局 : 第二製造部サブリーダー 宇尾野諭  
連絡先 : 電話 025-534-2531 (代表)  
FAX 025-534-2532  
E-mail info@saigata.co.jp

### (4) 事業内容

- ・ステンレス鋼の加工、機械加工
- ・アルミ丸棒の面削加工、アルミ伸管・精密引抜管の加工
- ・木材・住宅関連及び金属商品の販売

### (5) 事業の規模

活動規模	単位	63期	64期	65期
		2018.9~2019.8	2019.9~2020.8	2020.9~2021.8
主要製品生産量	ton	5,152	3,821	4,610
売上高	百万円	383	349	444
従業員数	人	42	40	45
床面積	m <sup>2</sup>	6,960	6,960	6,960

## 2. 対象範囲

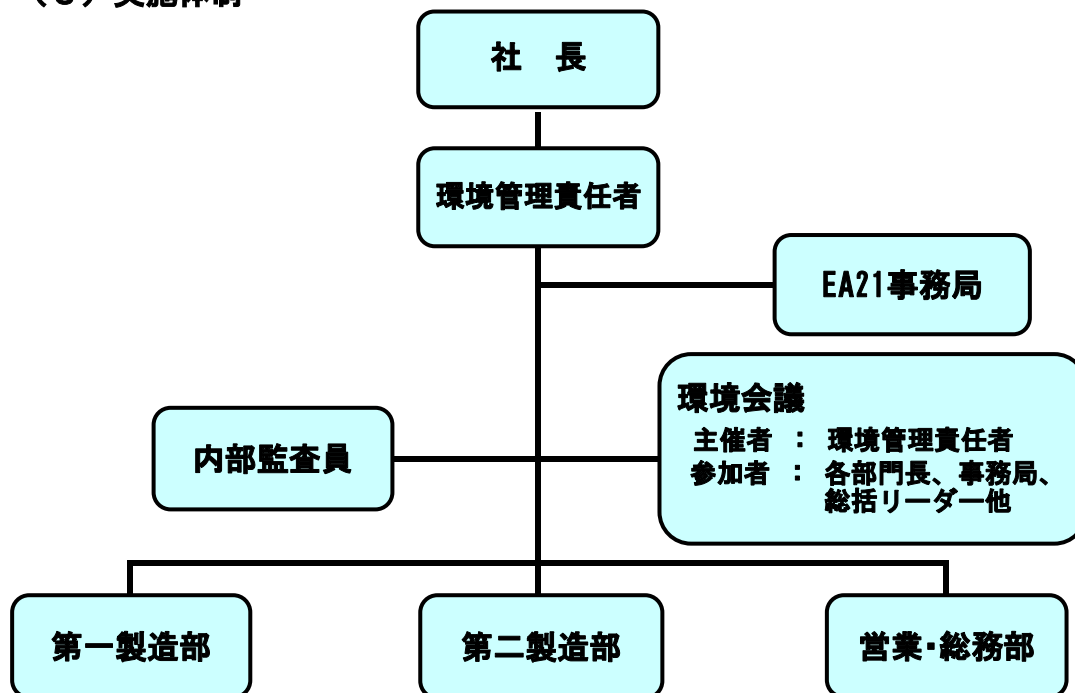
### (1) 適用活動

65期に株式会社犀潟鉄工所で行われる全事業活動、製品、サービス全体を対象としてエコアクション21に取り組み、環境経営システムを構築、運用、維持する。

### (2) 適用者

当社工場内の業務に従事する全従業員（パート、派遣社員も含）に適用する。

### (3) 実施体制



役割	責任及び権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針を策定する。</li> <li>中期環境経営目標、全社環境経営目標、全社環境経営目標設定表、全社環境経営計画書を承認する。</li> <li>環境管理責任者を任命する。</li> <li>環境マネジメントレビュー会議を開催し、システムの見直しを行なう。</li> <li>環境への取組みを適切に実行するために必要な資源（人員、設備、費用等）を提供する。</li> <li>環境マネジメントシステムの総責任者としての役割、権限を他の責任に関わらず持つ。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>社長に代わって、ガイドラインの要求事項を満たす環境マネジメントシステムを構築・運用・維持し、その状況を社長に報告する。</li> <li>中期環境経営目標、単年度の全社環境経営目標を策定する。</li> <li>部門環境経営目標、部門環境経営計画書を承認する。</li> <li>環境会議を開催する。</li> <li>EA21事務局の責任者</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の作成、管理。</li> <li>全社環境経営目標設定表、全社環境経営計画書を策定する。</li> <li>環境マネジメントシステム運用上の事務管理。</li> <li>環境マネジメントレビュー会議実施の事務管理。</li> <li>環境会議実施の事務管理。</li> <li>内部監査実施の事務管理。</li> <li>環境関連法規等一覧表・遵守評価記録を策定する。</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門内の環境マネジメントシステムの実施・運用の責任と権限を有する。</li> <li>部門環境経営目標及び部門環境経営計画書を策定する。</li> <li>環境マネジメントシステムの実施状況の確認、記録。</li> <li>各部門会議（製造会議、販売会議）を開催する。</li> <li>社員教育・訓練の実施及び記録の管理。</li> </ul>
総括リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門内の環境マネジメントシステムにおいて部門長を補佐する。</li> <li>部門環境経営計画書を策定する。</li> <li>環境マネジメントシステムの実施状況の監視・測定。</li> <li>職場内教育・訓練の実施及び記録の管理。</li> <li>社内資格の認定。</li> <li>緊急事態対応マニュアルの作成及び訓練・テストの実施、記録。</li> <li>運用手順（手順書、標準書）の作成。</li> <li>作業環境の運営・管理。</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

#### 〈基本理念〉

私たちは“常に信頼される”企業を目指して、地球環境保全が重要な課題であることを強く認識し、環境への負荷軽減を図るとともに、環境に優しい企業活動を行う。

#### 〈環境経営方針〉

当社は全事業活動に於いて、以下の環境経営方針に基づき、環境経営目標、環境経営計画を設定し、毎年これを見直すとともに継続的改善に努める。

1. 全ての事業活動の中で省資源、省エネルギー、節水及び廃棄物の削減とリサイクル化に取り組む。
2. 製造リードタイムの短縮、消耗品の削減、歩留り改善によって、顧客満足度、顧客信頼度の向上を実現する。
3. 環境に関連する法規、規制、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
4. 5S活動、緑化活動を推進し、地域環境の保全に寄与する。
5. 環境経営方針を全従業員に周知徹底し、教育・訓練により環境保全に関する知識の向上を図る。

制定 2005年 12月 1日

改訂 2018年 4月 1日

改訂 2020年 9月 1日

株式会社 犀潟鉄工所  
代表取締役社長 伊倉達成

## 4. 環境目標

61期～63期に於ける環境負荷の実績をもとに、64期から3ヶ年の中期目標を設定しました。二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の削減については、“売上高”を原単位とし、廃棄物排出量については、当社で改善可能な“廃棄物最終処分量の削減”を目標としました。

環境目標(取組項目)	単位	61～63期 実績	中期目標 64期～66期	64期 2019.9～2020.8	65期 2020.9～2021.8	66期 2021.9～2022.8
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> / 千円	1.910 -	1.815 5%削減	1.853 3%削減	1.834 4%削減	1.815 5%削減
②廃棄物最終処分量の削減	kg / 100千円	4.419 -	4.198 5%削減	4.286 3%削減	4.242 4%削減	4.198 5%削減
③総排水量の削減	m <sup>3</sup> / 1,000千円	3.235 -	3.073 5%削減	3.138 3%削減	3.105 4%削減	3.073 5%削減
④環境に配慮した製品を生産する	-	-	歩留り改善、消耗品の削減により環境負荷を低減する	部門毎に年度目標を決定	部門毎に年度目標を決定	部門毎に年度目標を決定

※購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2020年度の東北電力(株)の0.522kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用する

※売上高=売上-材料費

## 5. 環境活動計画

### (1) 中期環境活動計画

中期環境目標(3ヵ年)	64期 2019.9～2020.8	65期 2020.9～2021.8	66期 2021.9～2022.8
①二酸化炭素排出量の削減 第61～63期の実績平均値に対して、 66期末までに5%削減する	<b>単年度目標：3%削減</b> ・製造リードタイムの短縮 (工場以外の見直し、運搬時間の短縮) ・デジタル閲覧サービスを有効 利用し、電力量を削減	<b>単年度目標：4%削減</b> ・製造リードタイムの短縮 (自動化設備稼働率、生産 能率の向上) ・設備、空調機、電灯未使用 時の電源OFF徹底	<b>単年度目標：5%削減</b> ・製造リードタイムの短縮 (加工工程の同期化、仕掛 かり削減) ・環境配慮型設備の導入及 び効率化稼働
②廃棄物最終処分量の削減 第61～63期の実績平均値に対して、 66期末までに5%削減する	<b>単年度目標：3%削減</b> ・工程内不良の削減、工程 能力の改善 ・作業記録、日報の電子化、 データ共有化 ・廃棄物・有価物の分別徹底	<b>単年度目標：4%削減</b> ・消耗品の再利用、再生利 用を推進 ・書類保存、廃棄物の徹底 ・廃棄物・有価物の分別徹底	<b>単年度目標：5%削減</b> ・経理(重量)歩留り、検 査歩留りの向上 ・梱包資材のリサイクル、メー への返却を徹底 ・廃棄物・有価物の分別徹底
③水使用量の削減 第61～63期の実績平均値に対して、 66期末までに5%削減する	<b>単年度目標：3%削減</b> ・漏水点検の継続、強化 (特に冬期間) ・生活用水(手洗い場、トイレ等) の節水励行	<b>単年度目標：4%削減</b> ・洗浄機、洗浄機、溶剤冷却 水の削減(能率up) ・生活用水(手洗い場、トイレ等) の節水励行	<b>単年度目標：5%削減</b> ・雨水、融雪水を防火用水 等へ有効利用 ・生活用水(手洗い場、トイレ等) の節水励行
④環境に配慮した製品を生産する 歩留り改善、消耗品の削減により、 環境負荷を低減する	<b>単年度目標：</b> <b>KSSIに準じて設定</b> ・64期歩留り、消耗品の 削減目標の達成 ・EA21検討会議、環境教 育・訓練の定期開催	<b>単年度目標：</b> <b>KSSIに準じて設定</b> ・65期歩留り、消耗品の 削減目標の達成 ・EA21検討会議、環境教 育・訓練の定期開催	<b>単年度目標：</b> <b>KSSIに準じて設定</b> ・66期歩留り、消耗品の 削減目標の達成 ・EA21検討会議、環境教 育・訓練の定期開催

## (2) 単年度(65期)環境活動計画

### 1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・電灯など未使用時電源OFFの徹底、監視(事務所)
- ・事務所内エアコン温度設定の管理(事務所)
- ・AKSS、SKSS活動及び改善提案を推進して製造リードタイムの短縮を図り、電力量を削減する(本社、駅前工場)
- ・機械、電灯、空調の必要最小限の使用。スマートグッズの監視(本社、駅前工場)

### 2) 廃棄物最終処分量の削減

- ・コピー用紙など裏紙の再利用を徹底する(事務所)
- ・消耗品の使用限度を統一し削減を図る(駅前工場)
- ・台木の再利用により処分量を削減する(駅前工場)
- ・廃棄物、有価物の分別を推進する(本社、駅前工場)
- ・廃油、廃灯油の保管量の把握(本社工場)

### 3) 水使用量の削減

- ・節水の徹底及び漏水の確認を行う(事務所)
- ・EA21指標を全部員に配布し、水道使用量の把握・意識向上を図る為の教育を実施する(本社工場)
- ・EA21資料から、水道使用量を把握し節水教育を実施する(駅前工場)
- ・工場内外の水道管設置個所の漏水点検を強化する(本社工場、駅前工場)

### 4) 環境に配慮した製品を生産する

- ・市道歩道の清掃を年5回、緊急事態訓練を年1回実施する(事務所)
- ・購入素管一般材の歩留りは64期比0.2%以上(本社工場)
- ・購入素管トラス材の歩留りは64期比0.2%アップ(本社工場)
- ・61期~63期実績を基準に、各工程で使用するベルト・ワッパ使用量を4%削減する(駅前工場)
- ・61期~63期実績を基準に、面削ラインに於いて不良率を4%削減する(駅前工場)
- ・61期~63期実績を基準に、スライ切断に於いて不良率を4%削減する(駅前工場)

## 6. 環境目標の実績

65期（2020年 9月 ～ 2021年 8月）の実績は下記の通りです。

環境目標(取組項目)	単位	目標	実績	達成度
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> / 千円	1.834 4%削減	1.688 12.4%削減	達成
②廃棄物最終処分量の削減	kg / 100千円	4.242 4%削減	3.711 16.0%削減	達成
③水使用量の削減	m <sup>3</sup> / 1,000千円	3.105 4%削減	3.466 7.1%増加	未達成
④環境に配慮した製品を生産する	事務所/ 営業総務部	環境美化活動、緊急 事態訓練年8回以上	8回実施	達成
	駅前工場/ 第一製造部	ペーパー4%削減	22.7%削減	達成
	駅前工場/ 第一製造部	面削7インチ不良4%削減	51.1%削減	達成
	駅前工場/ 第一製造部	スライ切断不良4%削減	109.9%増加	未達成
	本社工場/ 第二製造部	一般材歩留り0.2%向 上	1.4%向上	達成
	本社工場/ 第二製造部	ドラム材歩留り0.2% 向上	1.2%向上	達成

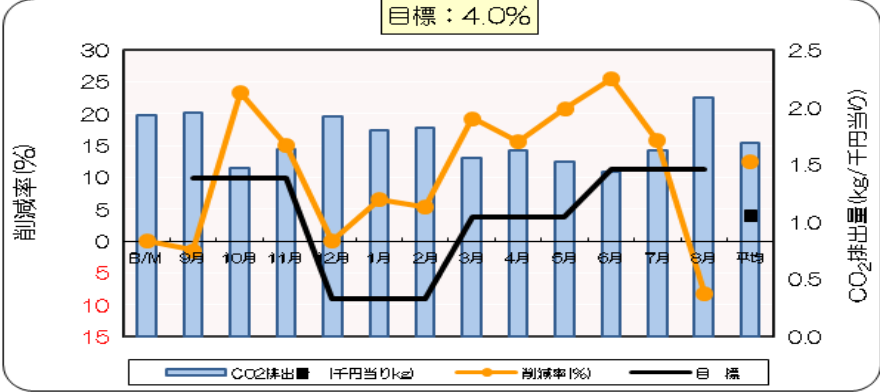
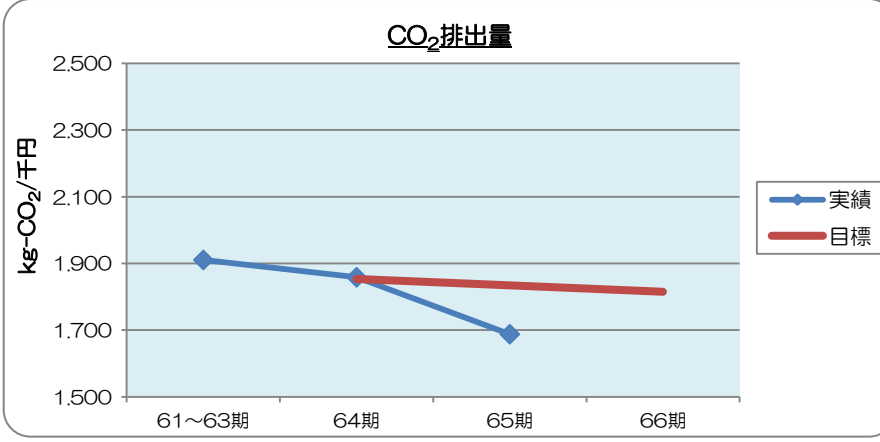
※購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2020年度の東北電力(株)の0.522kg-CO<sub>2</sub>/kWhとする

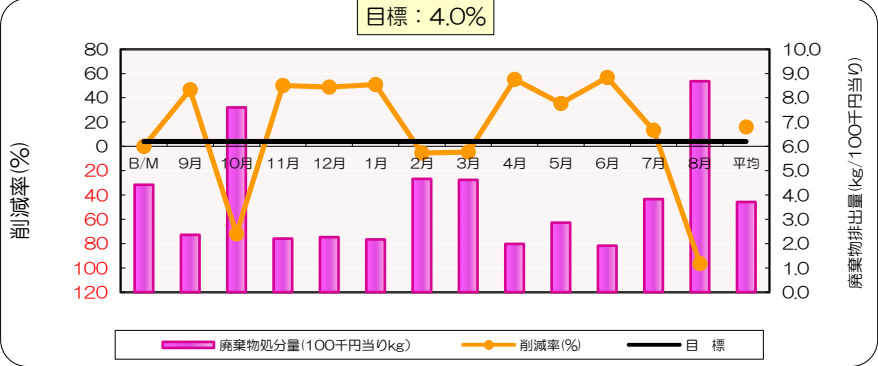
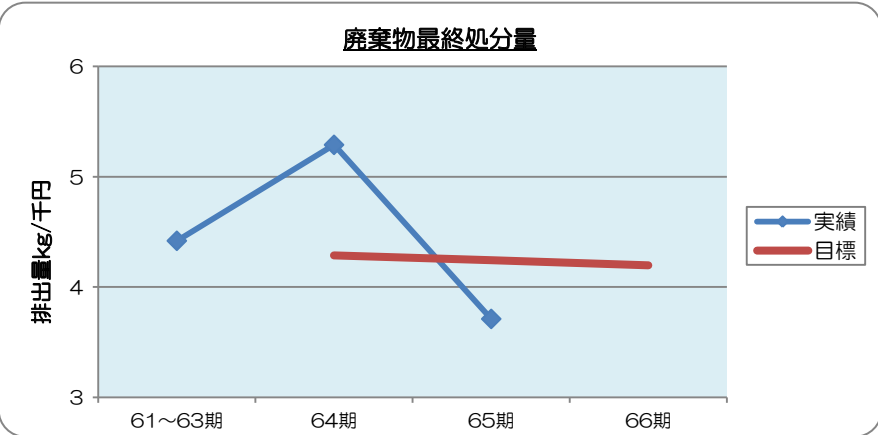
※二酸化炭素排出量の総量の実績は、517,158kg-CO<sub>2</sub>





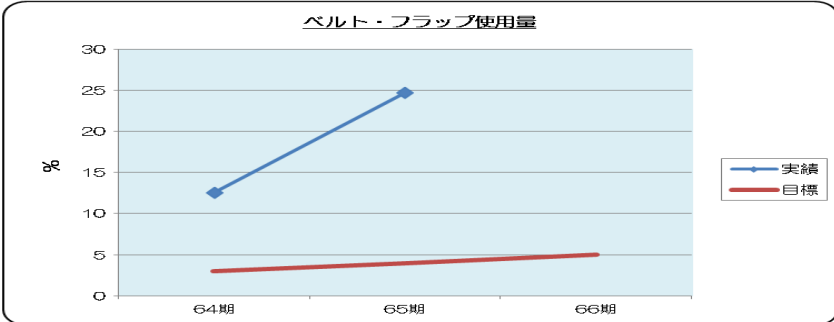
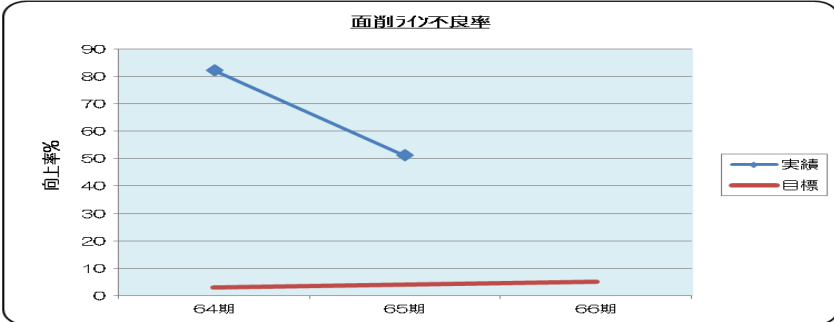
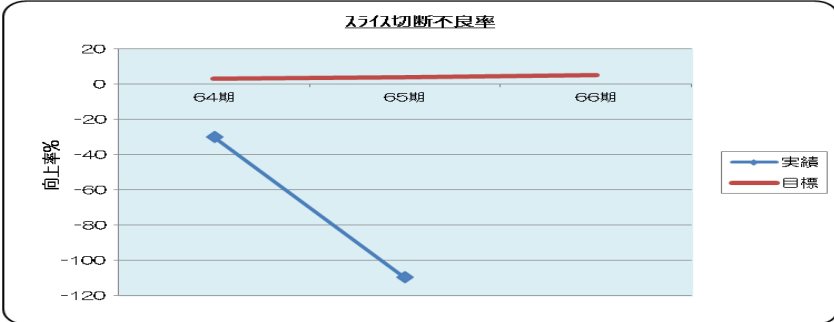
# 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

## (1) 取組結果とその評価

取組項目	取組結果																																																												
<p>①二酸化炭素排出量の削減</p> <p>《目標》 4.0%削減</p> <p>《実績》 12.4%削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善活動を推進し、リードタイム短縮を行った</li> <li>・工場照明、動力、冷暖房機器等未使用時の電源OFFを徹底した</li> <li>・電力監視システムによる電力使用量の削減、デマンド管理を行った</li> </ul> <p>[65期実績]</p>  <table border="1" data-bbox="507 994 1391 1169"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>B/M</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO<sub>2</sub>排出量 (千円当りkg)</td> <td>1.9</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.6</td> <td>1.9</td> <td>1.8</td> <td>1.8</td> <td>1.6</td> <td>1.6</td> <td>1.5</td> <td>1.4</td> <td>1.6</td> <td>2.1</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>削減率 (%)</td> <td>0.0</td> <td>-1</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>16</td> <td>-8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>-9.1</td> <td>-9.1</td> <td>-9.1</td> <td>3.8</td> <td>3.8</td> <td>3.8</td> <td>11.4</td> <td>11.4</td> <td>11.4</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>[64期～66期実績]</p> 	項目	B/M	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均	CO <sub>2</sub> 排出量 (千円当りkg)	1.9	2.0	1.5	1.6	1.9	1.8	1.8	1.6	1.6	1.5	1.4	1.6	2.1	1.7	削減率 (%)	0.0	-1	23	15	0	7	5	19	16	21	26	16	-8	12	目標		10.0	10.0	10.0	-9.1	-9.1	-9.1	3.8	3.8	3.8	11.4	11.4	11.4	4.0
項目	B/M	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均																																															
CO <sub>2</sub> 排出量 (千円当りkg)	1.9	2.0	1.5	1.6	1.9	1.8	1.8	1.6	1.6	1.5	1.4	1.6	2.1	1.7																																															
削減率 (%)	0.0	-1	23	15	0	7	5	19	16	21	26	16	-8	12																																															
目標		10.0	10.0	10.0	-9.1	-9.1	-9.1	3.8	3.8	3.8	11.4	11.4	11.4	4.0																																															
達成度	実績評価																																																												
目標達成	<p>全社では12.4%の削減で目標クリアしたが、8月は全部門でエアコン使用等で未達。特に営業・総務部のマイナスが大きい。この結果を踏まえて66期の施策を検討する。</p>																																																												

取組項目	取組結果																																																												
<p>②廃棄物最終処分量の削減</p> <p>《目標》 4.0%削減</p> <p>《実績》 16.0%削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙の裏紙利用を徹底した</li> <li>・木パレット、台木、当て木、緩衝材、段ボール等の再利用を推進した</li> <li>・廃棄物・有価物の分別徹底</li> </ul> <p>[65期実績]</p>  <table border="1" data-bbox="512 822 1394 1003"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>B/M</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃棄物処分量 (100千円当りkg)</td> <td>4.4</td> <td>2.4</td> <td>7.6</td> <td>2.2</td> <td>2.3</td> <td>2.2</td> <td>4.7</td> <td>4.6</td> <td>2.0</td> <td>2.9</td> <td>1.9</td> <td>3.8</td> <td>8.7</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>削減率(%)</td> <td>0.0</td> <td>47</td> <td>-72</td> <td>50</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>-5</td> <td>-5</td> <td>55</td> <td>35</td> <td>57</td> <td>13</td> <td>-96</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>[64期～66期実績]</p> 	項目	B/M	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均	廃棄物処分量 (100千円当りkg)	4.4	2.4	7.6	2.2	2.3	2.2	4.7	4.6	2.0	2.9	1.9	3.8	8.7	3.7	削減率(%)	0.0	47	-72	50	49	51	-5	-5	55	35	57	13	-96	16	目標	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
項目	B/M	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均																																															
廃棄物処分量 (100千円当りkg)	4.4	2.4	7.6	2.2	2.3	2.2	4.7	4.6	2.0	2.9	1.9	3.8	8.7	3.7																																															
削減率(%)	0.0	47	-72	50	49	51	-5	-5	55	35	57	13	-96	16																																															
目標	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																																															
達成度	実績評価																																																												
目標達成	<p>営業・総務部では、書庫の古い書類の廃棄を進めている為目標未達であった。この廃棄を実施した月以外は目標を達成してる。製造部門では台木、パレット、梱包材の再利用を推進し年間で目標を達成した。66期も継続する。</p>																																																												

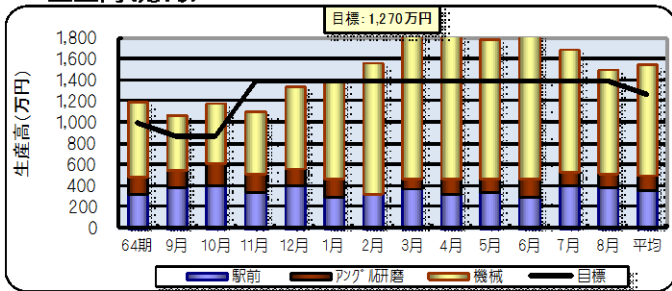
取組項目	取組結果																																																												
<p data-bbox="177 667 416 703">③総排水量の削減</p> <p data-bbox="188 786 328 857">《目標》 4.0%削減</p> <p data-bbox="188 898 328 969">《実績》 7.1%増加</p>	<ul data-bbox="448 215 1362 282" style="list-style-type: none"> <li>工場内外の水道管設置個所の定期的な漏水点検・監視を実施した</li> <li>E A 2 1 実績資料から上水使用量の把握と生活用水の節水教育を実施した</li> </ul> <p data-bbox="472 353 603 389">[65期実績]</p> <div data-bbox="483 421 1390 779"> </div> <table border="1" data-bbox="483 819 1390 987"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>B/M</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量 (1000千円当り)</td> <td>3.2</td> <td>4.4</td> <td>2.9</td> <td>2.2</td> <td>3.0</td> <td>2.6</td> <td>1.9</td> <td>11.7</td> <td>2.0</td> <td>2.4</td> <td>2.3</td> <td>2.4</td> <td>3.3</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>削減率(%)</td> <td>0.0</td> <td>-36</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>8</td> <td>21</td> <td>42</td> <td>-202</td> <td>38</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>-1</td> <td>-7</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="472 1003 683 1039">[64期～66期実績]</p> <div data-bbox="483 1070 1378 1503"> </div>	項目	B/M	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均	総排水量 (1000千円当り)	3.2	4.4	2.9	2.2	3.0	2.6	1.9	11.7	2.0	2.4	2.3	2.4	3.3	3.5	削減率(%)	0.0	-36	10	30	8	21	42	-202	38	27	28	26	-1	-7	目標	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
項目	B/M	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均																																															
総排水量 (1000千円当り)	3.2	4.4	2.9	2.2	3.0	2.6	1.9	11.7	2.0	2.4	2.3	2.4	3.3	3.5																																															
削減率(%)	0.0	-36	10	30	8	21	42	-202	38	27	28	26	-1	-7																																															
目標	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																																															
<p data-bbox="256 1547 352 1583">達成度</p>	<p data-bbox="884 1547 1007 1583">実績評価</p>																																																												
<p data-bbox="245 1653 363 1688">目標未達</p>	<p data-bbox="443 1621 1442 1711">営業・総務部は第二製造部人員増加により使用量が増加した。第一製造部は2月に漏水があり、大幅にマイナス。更なる監視強化に努めます。第二製造部は良好でした。</p>																																																												

取組項目	取組結果																																				
<p>④環境に配慮した製品を生産する</p> <p>《営業総務部目標》 環境美化活動、緊急事態訓練の実施 8回以上実施</p> <p>《実績》 8回実施</p> <p>《第一製造部目標》 ●ベルト・フラップの使用量を4.0%削減する</p> <p>《実績》 22.7%削減</p> <p>●面削ライ不良率 4.0%削減</p> <p>《実績》 51.1%削減</p> <p>●スライス切断不良率 4.0%削減</p> <p>《実績》 109.9%増加</p>	<p>・機械工場、曲直工場の油漏洩を想定した緊急事態訓練を実施した</p> <p>・事務所部門では、本社工場周辺の市道歩道清掃を年5回実施した</p> <p>・本社工場では、引抜条件の見直しや工程変更で不良率の削減を行った</p> <p>・駅前工場では、研磨不良品の削減、研磨ベルトの再利用を徹底した</p> <p>[65期実績]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>油吸着回収訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>放水ポンプ稼働訓練</p> </div> </div> <p>[65期～66期実績]</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ベルト・フラップ使用量</p>  <table border="1"> <caption>ベルト・フラップ使用量 (%)</caption> <thead> <tr><th>期</th><th>実績 (%)</th><th>目標 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>64期</td><td>12.0</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>65期</td><td>25.0</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>66期</td><td>-</td><td>4.0</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">面削ライ不良率</p>  <table border="1"> <caption>面削ライ不良率 (%)</caption> <thead> <tr><th>期</th><th>実績 (%)</th><th>目標 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>64期</td><td>82.0</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>65期</td><td>51.1</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>66期</td><td>-</td><td>4.0</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">スライス切断不良率</p>  <table border="1"> <caption>スライス切断不良率 (%)</caption> <thead> <tr><th>期</th><th>実績 (%)</th><th>目標 (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>64期</td><td>-30.0</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>65期</td><td>-109.9</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>66期</td><td>-</td><td>4.0</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	期	実績 (%)	目標 (%)	64期	12.0	4.0	65期	25.0	4.0	66期	-	4.0	期	実績 (%)	目標 (%)	64期	82.0	4.0	65期	51.1	4.0	66期	-	4.0	期	実績 (%)	目標 (%)	64期	-30.0	4.0	65期	-109.9	4.0	66期	-	4.0
期	実績 (%)	目標 (%)																																			
64期	12.0	4.0																																			
65期	25.0	4.0																																			
66期	-	4.0																																			
期	実績 (%)	目標 (%)																																			
64期	82.0	4.0																																			
65期	51.1	4.0																																			
66期	-	4.0																																			
期	実績 (%)	目標 (%)																																			
64期	-30.0	4.0																																			
65期	-109.9	4.0																																			
66期	-	4.0																																			

取組項目	取組結果																								
<p>《第二製造部目標》 一般材歩留り64期比 0.2%向上</p> <p>《実績》 1.4%向上</p> <p>ドラム材歩留り64期比 0.2%向上</p> <p>《実績》 1.2%向上</p>	<div data-bbox="488 280 1380 795"> <p style="text-align: center;">一般材歩留り</p> <table border="1"> <caption>一般材歩留り実績</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績 (%)</th> <th>目標 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64期</td> <td>87.4</td> <td>88.7</td> </tr> <tr> <td>65期</td> <td>89.0</td> <td>88.7</td> </tr> <tr> <td>66期</td> <td>-</td> <td>88.7</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="488 831 1380 1346"> <p style="text-align: center;">ドラム材歩留り</p> <table border="1"> <caption>ドラム材歩留り実績</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績 (%)</th> <th>目標 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64期</td> <td>81.9</td> <td>82.2</td> </tr> <tr> <td>65期</td> <td>83.8</td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td>66期</td> <td>-</td> <td>81.8</td> </tr> </tbody> </table> </div>	期	実績 (%)	目標 (%)	64期	87.4	88.7	65期	89.0	88.7	66期	-	88.7	期	実績 (%)	目標 (%)	64期	81.9	82.2	65期	83.8	82.0	66期	-	81.8
期	実績 (%)	目標 (%)																							
64期	87.4	88.7																							
65期	89.0	88.7																							
66期	-	88.7																							
期	実績 (%)	目標 (%)																							
64期	81.9	82.2																							
65期	83.8	82.0																							
66期	-	81.8																							
<p style="text-align: center;"><b>達成度</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>実績評価</b></p>																								
<p>営業総務部：目標達成</p> <p>第一製造部：目標未達</p> <p>第二製造部：目標達成</p>	<p>6月22日に本社工場で緊急事態訓練を行い、油吸着マットの使用手順の確認、消化ポンプ稼働訓練を行った。駅前工場のスライ切断設備不具合により不良率が増加した。貸与設備につき客先の対応待ちとなっている。</p>																								

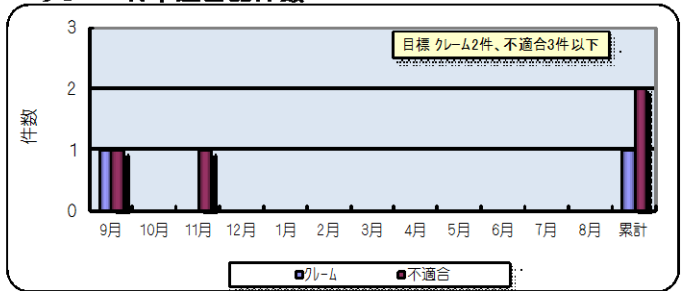
# SKSS実績指標(65期/8月度)

## 1. 生産高(万円)



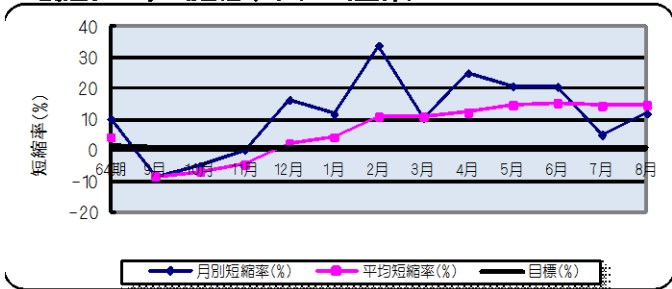
項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
駅前	322	389	401	348	412	287	325	374	327	337	293	408	391	358
アツギ研磨	161	162	205	175	155	177	1	95	149	138	172	133	124	140
機械	721	522	571	582	779	943	1,243	1,494	1,550	1,318	1,466	1,157	982	1,051
TOTAL	1,204	1,073	1,177	1,105	1,346	1,407	1,569	1,964	2,026	1,794	1,931	1,698	1,497	1,549

## 2. クレーム、不適合品件数



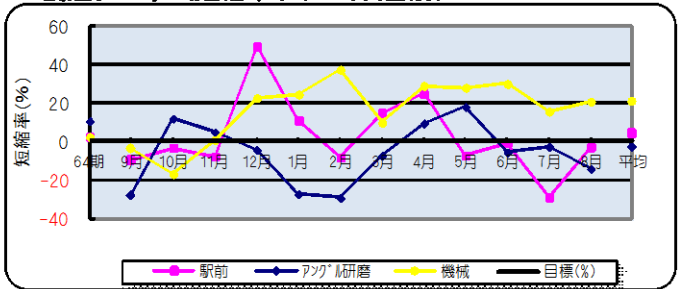
項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	累計
クレーム	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
不適合	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

## 3. 製造リードタイム短縮率(%) <全体>



項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別短縮率(%)	10.3	-8.7	-4.8	4.2	20.3	10.3	31.0	12.8	28.8	20.8	20.7	12.0	11.2
平均短縮率(%)	4.4	-8.7	-6.7	-2.9	4.5	5.7	11.3	11.5	14.2	15.0	15.6	15.3	15.0
目標(%)	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

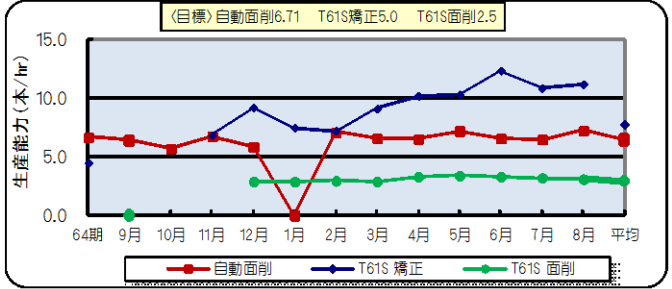
## 4. 製造リードタイム短縮率(%) <項目別>



項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
駅前	3.0	-8.2	-2.7	8.0	7.4	-17.1	9.7	15.6	24.8	-6.6	-0.0	7.8	-2.3	4.1
アツギ研磨	11.2	-27.8	12.4	5.5	-3.7	-26.7	-28.6	-6.8	10.1	18.5	-4.9	-2.1	-13.5	-2.1
機械	3.0	-3.0	-16.2	1.4	29.3	25.2	37.8	13.7	32.7	28.6	30.5	16.2	20.0	22.1
目標(%)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

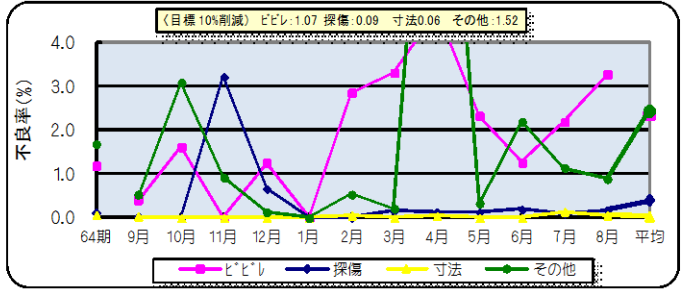
補修用部品のみにて

## 5. 小径面削棒生産能力(本/hr)



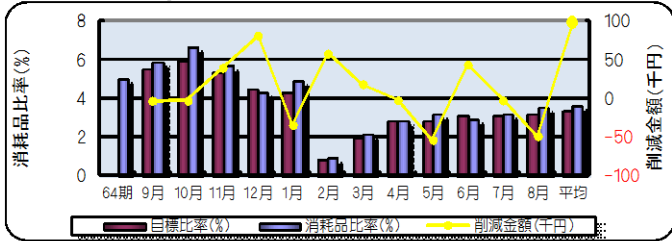
項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
自動面削	6.64	6.37	5.69	6.72	5.85		7.09	6.57	6.51	7.21	6.56	6.48	7.23	6.62
T61S 矯正	4.50			6.85	9.21	7.50	7.22	9.10	10.21	10.31	12.35	10.87	11.20	9.58
T61S 面削				2.90	2.90	2.99	2.90	3.30	3.40	3.30	3.20	3.10	3.11	

## 6. 自動面削棒不良率(%)



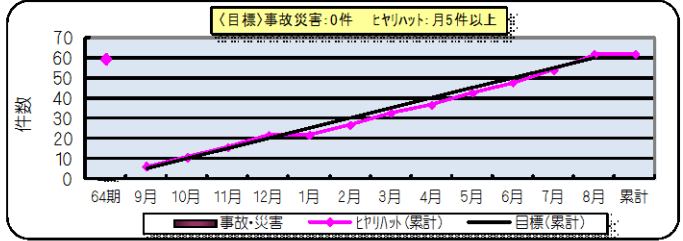
項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
ビビレ	1.19	0.41	1.82	0.00	1.28	0.00	2.87	3.32	4.73	2.33	1.27	2.20	3.28	2.34
探傷	0.10	0.00	0.00	3.22	0.87	0.00	0.00	0.16	0.14	0.13	0.20	0.10	0.18	0.40
寸法	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.05	0.00	0.00	0.15	0.08	0.03
その他	1.89	0.51	3.10	0.92	0.13	0.00	0.54	0.21	12.79	0.33	2.20	1.15	0.90	2.44

## 7. 消耗品(全体)



項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
目標比率(%)	0.0	5.5	5.9	5.4	4.5	4.3	0.8	2.0	2.8	2.9	3.1	3.1	3.2	3.4
消耗品比率(%)	5.0	5.9	6.6	5.7	4.3	4.9	0.9	2.2	2.9	3.2	3.0	3.2	3.6	3.6
削減金額(千円)		-3	-3	40	82	-34	58	19	-2	-53	44	-2	-48	98.0

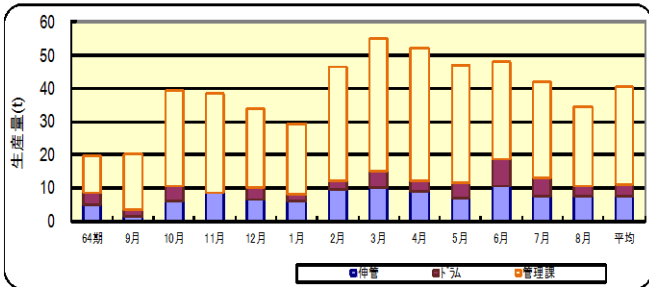
## 8. 事故(交通事故含)・災害、ヒヤリハット件数



項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	累計
事故・災害	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒヤリハット(累計)	59	6	11	16	22	22	27	33	37	43	48	54	62	62
目標(累計)		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	

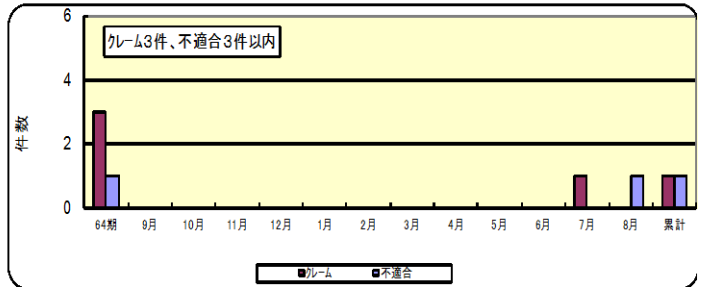
# AKSS実績指標(65期/8月度)

## 1. 生産重量(t/月)



項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
TOTAL	20	20	39	38	34	29	47	55	52	47	48	42	34	41
伸管	5	1	6	8	6	6	10	10	9	7	10	7	8	7
ドラム	4	2	4	0	4	2	3	5	3	4	9	6	3	4
管理課	11	17	29	30	24	21	34	40	40	36	30	29	24	30
生産効率	56	83.4	73.8	78.4	71.1	72.7	73.8	72.7	76.9	76.0	61.1	69.2	69.4	72.8

## 2. クレーム、不適合件数

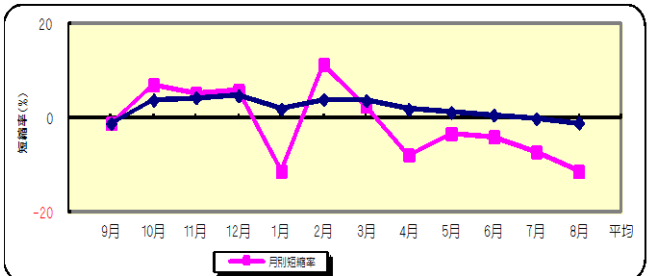


項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	累計
クレーム	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
不適合	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

不適合発生基準...項目別不良率が10%を超えた場合0

## 3. 製造リードタイム短縮率(%)

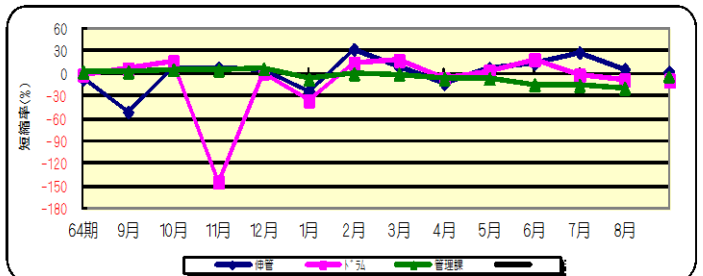
64期比



項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
月別短縮率	-1.1	7.0	5.2	5.8	-11.2	11.4	2.6	-7.9	-3.3	-4.0	-7.2	-11.3	
平均短縮率	-1.1	3.8	4.4	4.8	1.9	4.0	3.7	1.9	1.2	0.6	-0.1	-1.0	

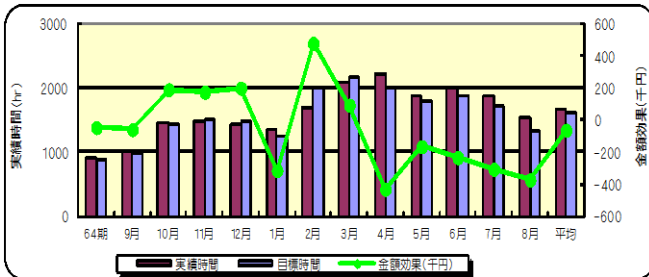
## 4. 製造リードタイム短縮率(項目別)

64期比



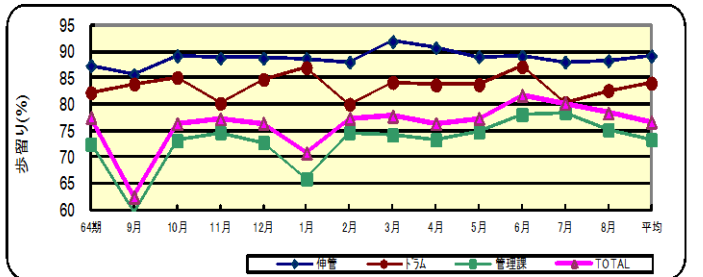
項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
伸管	-7.1	-51.4	8.1	8.0	4.2	-23.3	32.6	8.5	-13.3	7.0	13.6	28.1	6.0	2.3
ドラム	-1.5	6.4	15.8	-14.5	1.0	-36.0	14.1	18.0	-6.4	3.9	18.6	-2.1	-8.2	-9.9
管理課	2.3	2.7	5.6	4.9	6.7	-7.1	0.0	-0.5	-6.5	-6.2	-14.3	-15.4	-19.1	-4.1

## 5. 実績時間(hr)〈その他含む〉



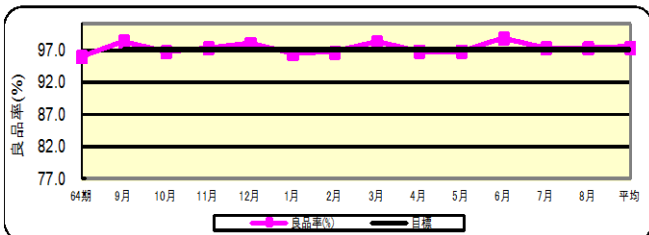
項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
実績時間	916	1020	1457	1473	1419	1345	1697	2090	2226	1882	2011	1884	1523	1669
目標時間	874	987	1422	1516	1484	1238	2001	2153	2007	1787	1884	1716	1340	1628
差	42	33	35	-43	-65	107	-304	-63	218	95	127	168	184	41
金額効果(千円)	-44	-57	192	176	201	-313	481	96	-429	-163	-231	-304	-371	-60

## 6. 経理歩留り(%)



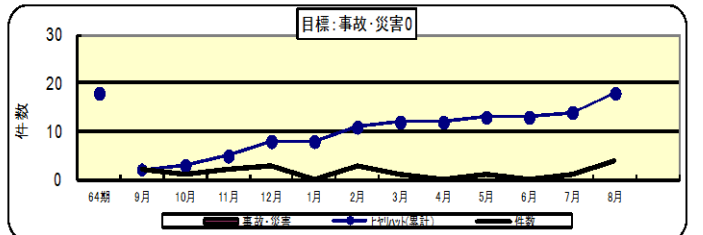
項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
伸管	87.4	85.7	89.3	88.9	88.9	88.8	88.1	92.0	90.8	89.1	89.3	88.1	88.4	89.3
ドラム	82.3	84.0	85.2	80.3	84.8	87.1	80.1	84.3	83.8	83.8	87.2	80.5	82.7	84.1
管理課	72.5	59.5	73.2	74.7	72.8	65.9	74.8	74.3	73.4	74.8	78.2	78.5	75.2	73.4
TOTAL	77.8	62.5	76.5	77.4	76.5	70.8	77.5	77.9	76.5	77.4	81.8	80.3	78.4	76.8

## 7. ドラム(全体)検査本数良品率(%)



項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
良品率(%)	96.05	98.42	96.79	97.35	98.05	96.48	96.73	98.29	96.86	96.87	98.85	97.36	97.36	97.45
目標		97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00	97.00

## 8. 事故(交通事故含)・災害、ヒヤリハット件数



項目	64期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
事故・災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒヤリハット(累計)	18	2	3	5	8	8	11	12	12	13	13	14	18
件数		2	1	2	3	0	3	1	0	1	0	1	4



## (2) 次年度の取組内容

当社64期～66期の中期3ヶ年計画は、61期～63期平均実績をB/Mとして下記目標、取組内容にて活動を進めて参ります。廃棄物排出量の削減は、継続して廃棄物最終処分量の削減を目標として活動致します。

### 1) 中期目標(64期～66期)及び単年度目標

環境経営目標(取組項目)	単位	61～63期 実績	中期目標 64期～66期	64期 H31.9～H32.8	65期 H32.9～H33.8	66期 H33.9～H34.8
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> / 千円	1.928 -	1.831 5%削減	1.870 3%削減	1.851 4%削減	1.831 5%削減
②廃棄物最終処分量の削減	kg / 100千円	4.419 -	4.198 5%削減	4.286 3%削減	4.242 4%削減	4.198 5%削減
③水使用量の削減	m <sup>3</sup> / 1,000千円	3.235 -	3.073 5%削減	3.138 3%削減	3.105 4%削減	3.073 5%削減
④自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	-	-	歩留り改善、消耗品の削減により環境負荷を低減する	部門毎に年度目標を決定	部門毎に年度目標を決定	部門毎に年度目標を決定

※購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2020年度の東北電力(株)の0.522kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用する

※売上高=売上-材料費

### 2) 66期取組内容

環境経営目標(取組項目)	取組内容
①二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備、空調機、電灯未使用時の電源OFF徹底</li> <li>・製造リードタイムの短縮(改善活動による生産能力の向上)</li> <li>・先端設備導入による作業工数の削減、機械能率・稼働率の向上</li> </ul>
②廃棄物最終処分量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品の再利用、再生利用を推進</li> <li>・会議資料の電子化配布を推進</li> <li>・廃棄物・有価物の分別徹底</li> </ul>
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道配管設置個所の漏水点検の継続、強化(特に冬期間)</li> <li>・洗浄機(ライン、溶缶)冷却水の削減(能率UP)</li> <li>・生活用水(給湯室、手洗い場等)の節水励行</li> </ul>
④自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・E A 2 1 検討会議、環境教育・訓練の定期開催</li> <li>・66期歩留り、消耗品削減目標の達成</li> </ul>



## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	主な要求事項	管理部門	遵守状況
作業環境測定法	粉塵の管理濃度 6ヶ月毎に測定	第一製造部	○
土壌汚染対策法	環境基準の遵守	第二製造部	○
騒音規制法	特定施設設置の届出 騒音に係る規制基準の遵守	第一製造部 第二製造部	○
振動規制法	特定施設設置の届出 振動に係る規制基準の遵守	第一製造部 第二製造部	○
浄化槽法	浄化槽保守点検の実施 2ヶ月毎に実施 水質定期検査（11条検査）の実施 毎年1回実施	営業総務部	○
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止管理者の選任	営業総務部	○
廃棄物処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正な分別、保管置き場の確保と表示 廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物管理票の管理 処理施設の現地確認	第一製造部 第二製造部 営業総務部	○
消防法	消防用設備等の点検 6ヶ月毎に点検	営業総務部	○
使用済み自動車の再資源化に関する法律	自動車のリサイクル処理にかかる費用の支払い	営業総務部	○
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器廃棄物の収集、運搬、再商品化等にかかる費用の支払い	営業総務部	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品空調機器の簡易点検 7.5kw以上空調機器の定期点検	総務部 製造部	○
PCB廃棄物処理特別措置法	低濃度PCB廃棄物の適正処理 電灯変圧器廃棄時に確認	第一製造部	○

環境関連法規等遵守評価記録表に基づいて確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。また関係機関からの違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。PCB廃棄物処理特別措置法で対象となる低濃度PCB（電灯変圧器）につきましては、廃棄時に適正処理致します。なお駅前工場に於ける騒音については、国道8号線及びJR信越線に隣接し、交通量が多いことから、暗騒音が法令に定められている朝夕50デシベル、夜間45デシベルを確保できない状況です。66期より特定化学物質障害予防規則を追加しました。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### (1) 全体評価

65期は中期3ヶ年計画の2年目となります。CO<sub>2</sub>の排出量は、KSS活動（高度生産システム活動）による製造リードタイムの短縮や電力監視システムによる動力使用量の平準化で大幅に削減することができました。廃棄物最終処分量は、製造部門に於ける廃棄物の分別及び消耗品、使用済油のリサイクルを徹底した結果、大幅に削減することができました。総排水量は、3月に駅前工場で鉄管破裂による漏水が発生し目標未達となりました。それを除外すると目標を大幅にクリアしており（-7.1%→25.7%）、来期は漏水点検の更なる強化が急務となります。環境に配慮する製品を生産するでは、研磨ベルト、フラップ等の消耗品及び面削ラインの不良率は大幅に削減、アルミ購入素管の歩留りは、検査不良率が低減し、目標を達成することができました。環境活動を通じて全従業員の環境意識が向上しています。次年度も全社一丸となって環境に配慮した経営活動を継続して参ります。

### (2) 見直し結果による66期の方針

#### 1) 環境経営方針

変更しない。

#### 2) 環境経営目標

中期3ヶ年計画の3年目である66期の環境経営目標に準じて活動を行います。

#### 3) 環境経営計画及び環境経営システム等

66期の環境経営目標・経営計画に準じて活動を進めます。CO<sub>2</sub>排出量の削減、廃棄物最終処分量の削減、水使用量の削減については61～63期の平均実績比5%削減を目標とします。“CO<sub>2</sub>排出量の削減”では、引き続き製造リードタイムの短縮及び5S活動を推進し作業の効率化を図ります。“水使用量の削減”では、駅前工場の水道管劣化、漏水対策として点検方法・点検頻度の見直しを実施します。環境に配慮した製品を生産するでは、各生産工程での不良率低減、消耗品（研磨資材、加工油、洗浄油等）の再利用、リサイクル化を推進して参ります。

#### 4) 実施体制の見直し

実施体制は現状のままとします。